

2024.07

**TOYOBO**  
Beyond Horizons

# TOYOBO インベスターズガイド 2023年度

東洋紡株式会社 (3101)

## 社会のサステナビリティに貢献する サステナブル（持続可能）な会社を目指して



東洋紡株式会社  
代表取締役社長 兼 社長執行役員

竹内 郁夫

当社グループは、企業理念『順理則裕』（なすべきことをなし、社会をゆたかにする）を起点として、めざす姿を「素材+サイエンスで人と地球に求められるソリューションを創造し続けるグループになる」としています。また、2022年5月に策定した「サステナブル・ビジョン2030」において、サステナブル・グロース（持続可能な成長）の実現を目指しています。このサステナブル・グロースとは、私たちの製品やサービス・技術を通じ、地球と社会のサステナビリティに貢献し、それによって私たち自身が持続的に成長することを意味しています。

これまで当社グループは、ステークホルダーの皆様からご理解とご支援をいただきながら、幾多の挑戦をし、私たちを取り巻く社会環境の変化に応える製品やサービスの提供に務めて来ました。今この時も、これら喫緊の課題に取り組み、事業を通じて持続可能な社会、すなわち安心してらせる「ゆたか」な社会の実現に貢献することが私たちの使命であり、当社グループの企業価値を持続的に向上させていくことになる、それをリードすることが私のミッションであると、強い決意で臨んでおります。

東洋紡グループは、これから先も人と地球に求められる企業グループであり続けるために、変化を恐れず、変化を楽しみ、変化をつくっていきます。

- I. 会社概要 (スライド 4~13)
- II. サステナブル・ビジョン2030、2025中期経営計画 (スライド 14~18)
- III. 2025中期経営計画における拡大事業 (スライド 19~22)
- IV. ESG (環境・社会・ガバナンス) (スライド 23~27)
- V. 株式情報 (スライド 28~29)
- VI. リンク集 (スライド 30~31)

# I. 会社概要

- 基本情報
- 企業理念体系「TOYOBO PVVs」
- セグメント別 売上高構成と製品例
- 製品トピックス
- 国内・海外拠点、地域別売上高比率
- 歩み

社名：**東洋紡株式会社** ※2012年10月1日 東洋紡績株式会社より商号変更

創立：1882年（明治15年）5月3日

設立：1914年（大正3年）6月26日

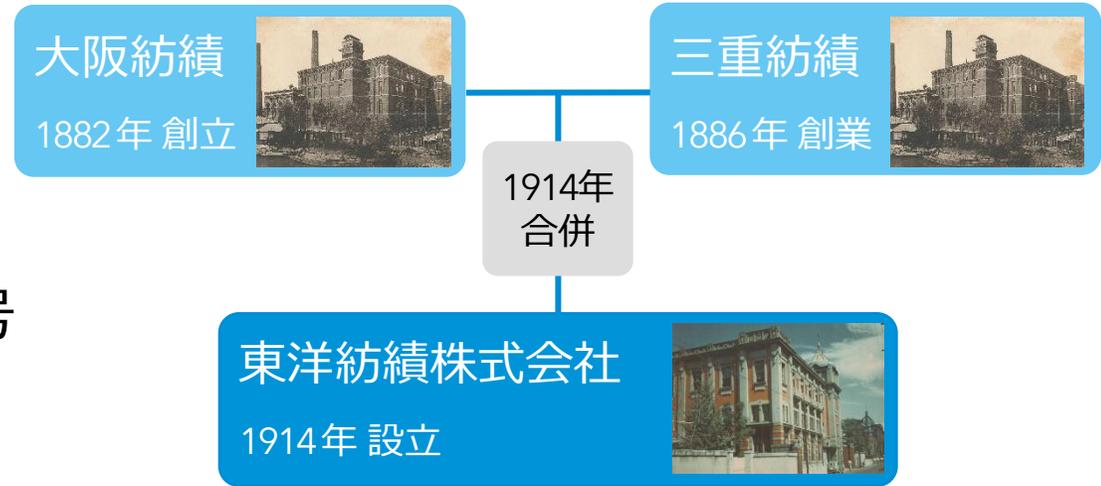
資本金：51,730百万円

本社所在地：大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号

従業員数：10,668名（連結） ※2024年3月31日時点

事業内容：祖業は綿紡績

現在は、高機能素材（フィルム、ライフサイエンス、  
環境・機能材、機能繊維分野における各種製品など）  
の製造、加工、販売



**2022年5月に創立140周年**

**コーポレートロゴ刷新**（2022年4月～）



## 東洋紡グループの企業理念

### 『順理則裕』 (じゅんりそくゆう)

創立者 渋沢栄一の座右の銘の一つ。  
道徳と経済を一致させることが重要であると説いた創立者の精神を受け継ぎ、  
当社の企業理念としている。



創立者 渋沢 栄一



渋沢栄一が1921年に揮毫した扁額

## 企業理念体系

### 「TOYOBO PVVs」

2019年、『順理則裕』をこれからの  
時代に照らして、体系化した。

**Principle**  
理念

『順理則裕』  
なすべきことをなし、ゆたかにする

**Vision**  
めざす姿

私たちは、素材＋サイエンスで人と地球に求められる  
ソリューションを創造し続けるグループになります

**Values**  
大切にすること

私たちは、変化を恐れず、変化を楽しみ、  
変化をつくります  
TOYOBO Spirit : 挑戦・信頼・協働

# セグメント別 売上高構成と製品例

## 機能繊維・商事 売上高比率 23.1%

- エアバッグ用基布
- 機能繊維
- 衣料繊維



エアバッグ用基布



衣料繊維

## 環境・機能材 売上高比率 27.8%

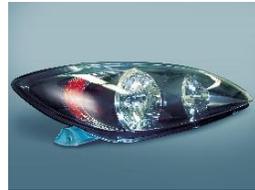
- 樹脂・ケミカル
- 環境・ファイバー



工業用接着剤



熱可塑性  
ポリエステルエラストマー



高機能性  
ポリエステル樹脂



海水淡水化用  
逆浸透膜



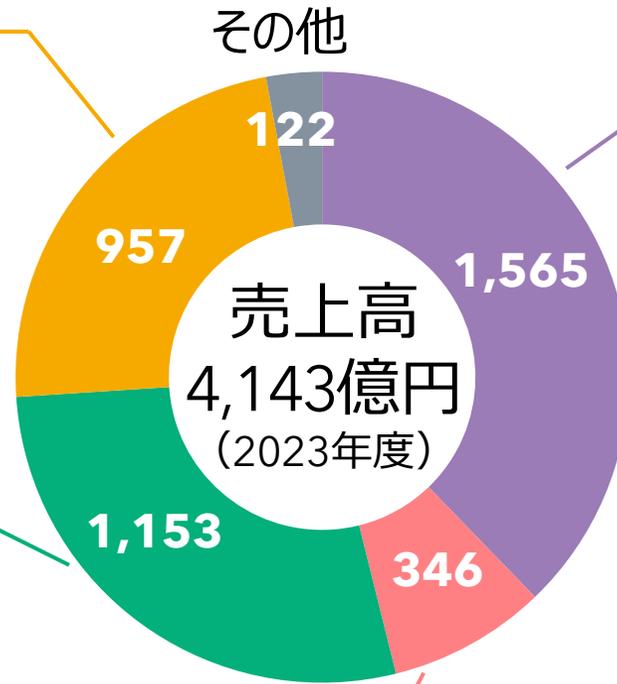
VOC回収装置



スーパー繊維



3次元網状繊維構造体



## フィルム 売上高比率 37.8%

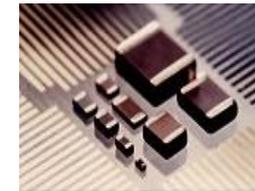
- 工業用フィルム
- 包装用フィルム



液晶偏光子保護フィルム



食品包装用



セラミックコンデンサ用  
離型フィルム



リサイクルPETフィルム



二元蒸着フィルム

## ライフサイエンス 売上高比率 8.3%

- バイオ
- メディカル
- 医薬品製造受託



原料酵素



全自動遺伝子  
解析装置



人工腎臓用  
中空糸膜



コラーゲン使用  
人工骨

## セグメント別



### リサイクルPET使用フィルム

PETボトルリサイクル樹脂の使用比率を、世界最高レベルの約80%まで高め、CO<sub>2</sub>排出量を約20%削減するフィルム



### 液晶TVの偏光子保護フィルム

液晶から発せられる光をより自然光に近い状態へ変換する超複屈折ポリエステルフィルム。

液晶TV市場のシェア約60% (当社推定)



### 生化学診断用の原料酵素

血糖（糖尿病）、コレステロール（動脈硬化）、クレアチニン（腎機能）など。

原料酵素市場のシェアは約25%、世界2位 (当社推定)



### 海水淡水化用の逆浸透膜

耐塩素性に優れ、微生物汚染を防ぐ。高温高濃度海水の中東湾岸諸国で高品質の生活用水を製造。

同地域のシェア約20% (当社推定)



### 溶剤を回収するVOC回収装置

国内外に1,500台以上納入し、繊維状活性炭を使用した吸着回収式の装置としてはトップシェア (当社推定)。

LIBセパレータ工場へ導入が進む

## 新技術・新製品 (2023年度リリース分)

### ▶ ビトリマー (“Vitrimer”)\*の実用化

\*再成形性・自己接着性・自己修復性などを有する高機能なポリマー。  
“Vitrimer”はFONDS ESPCI PARISの登録商標です。



- ・フレキシブルプリント基板などでの電子部品の接着用途。データ通信の高速化、自動車の電装・電動化で需要が拡大
- ・溶剤フリーで常温流通可能な環境配慮型の高耐熱接着シート
- ・2024年前半サンプル提供、製造販売開始予定

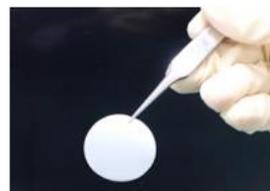
### ▶ MEL (マンノシルエリスリトールリピッド)

- ・NEDO「バイオものづくり革命推進事業」実施予定先に採択。微生物による天然由来の界面活性剤 MEL の利用分野拡大に向けた革命的生産システムの開発を開始
- ・目指す利用分野  
農業用展着剤（化学農薬の使用量低減）  
飼料配合剤（牛のゲップに含まれるメタンガスの排出量低減）  
衛生材のコーティング剤



### ▶ エクソソーム精製キット“CATAROSEV”の開発

- ・微小な孔とイオン交換機能を持つ精製膜と、洗浄液や溶出液などで構成される
- ・体内循環性を有する高純度エクソソームの高効率な精製・回収に成功
- ・医薬品や化粧品などへのエクソソームの応用を目指す企業や研究機関向けに、サンプル提供の準備中



# 国内・海外拠点、地域別売上高比率

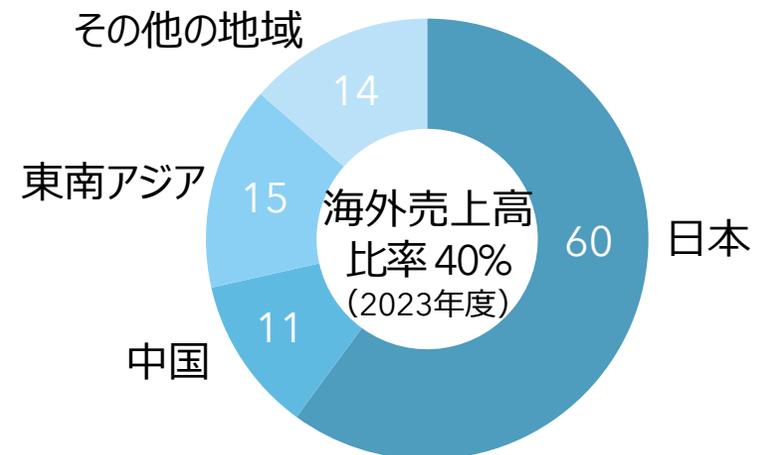
## ◆ 国内拠点 (2024年4月1日時点)



## ◆ 海外拠点



## ◆ 地域別売上高構成比率 (%)



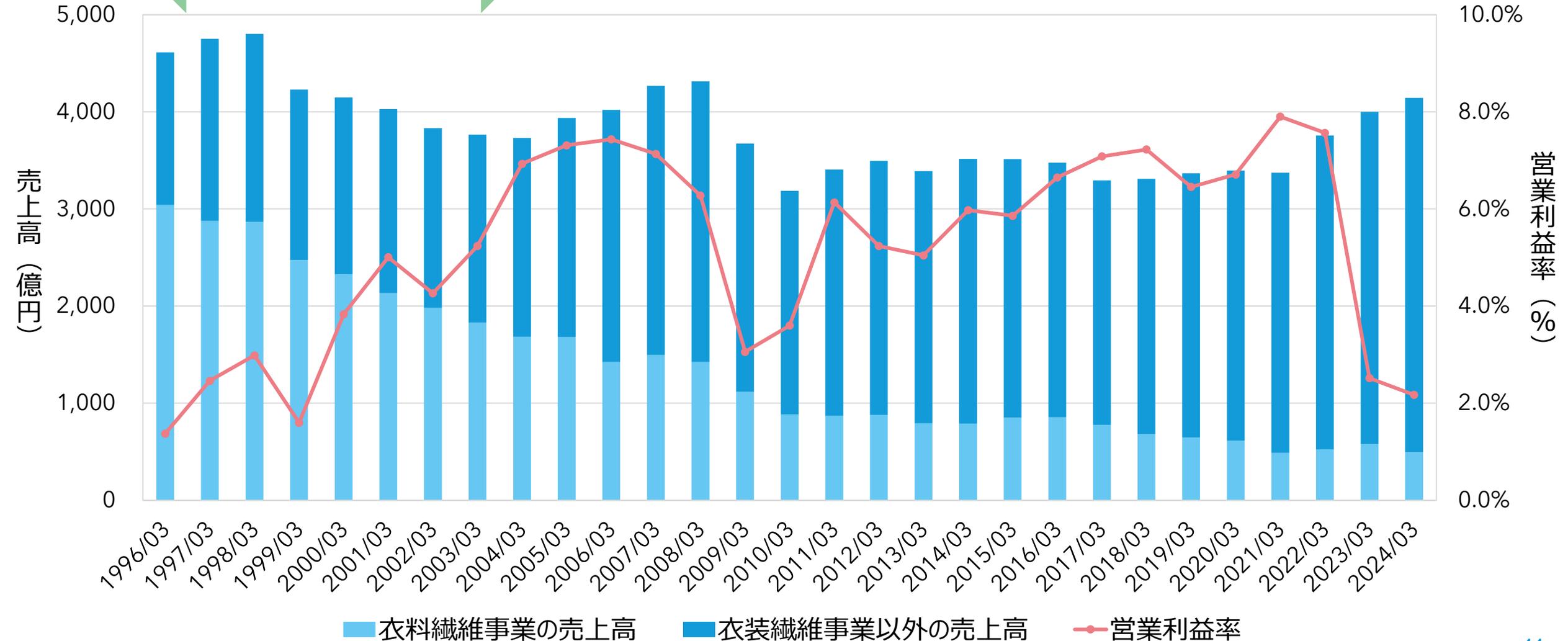
# 歩み① 東洋紡の変化と技術の進化



市場ニーズ・社会課題	
<b>日本の産業発展</b> ・紡績業や製糸業など軽工業分野が活発化	<b>戦後復興、高度経済成長</b> ・衣食住の充実
<b>安定成長期</b> ・大気汚染による公害問題の増加 ・モータリゼーションによる交通事故の増加	<b>進む情報化、国際化</b> ・生活習慣病の増加 ・液晶テレビの普及 ・世界各地で問題視される水不足
<b>高まる環境意識・デジタル技術の進化</b> ・新型コロナウイルス感染症拡大 ・注目されるフードロス ・スマートフォンの普及	

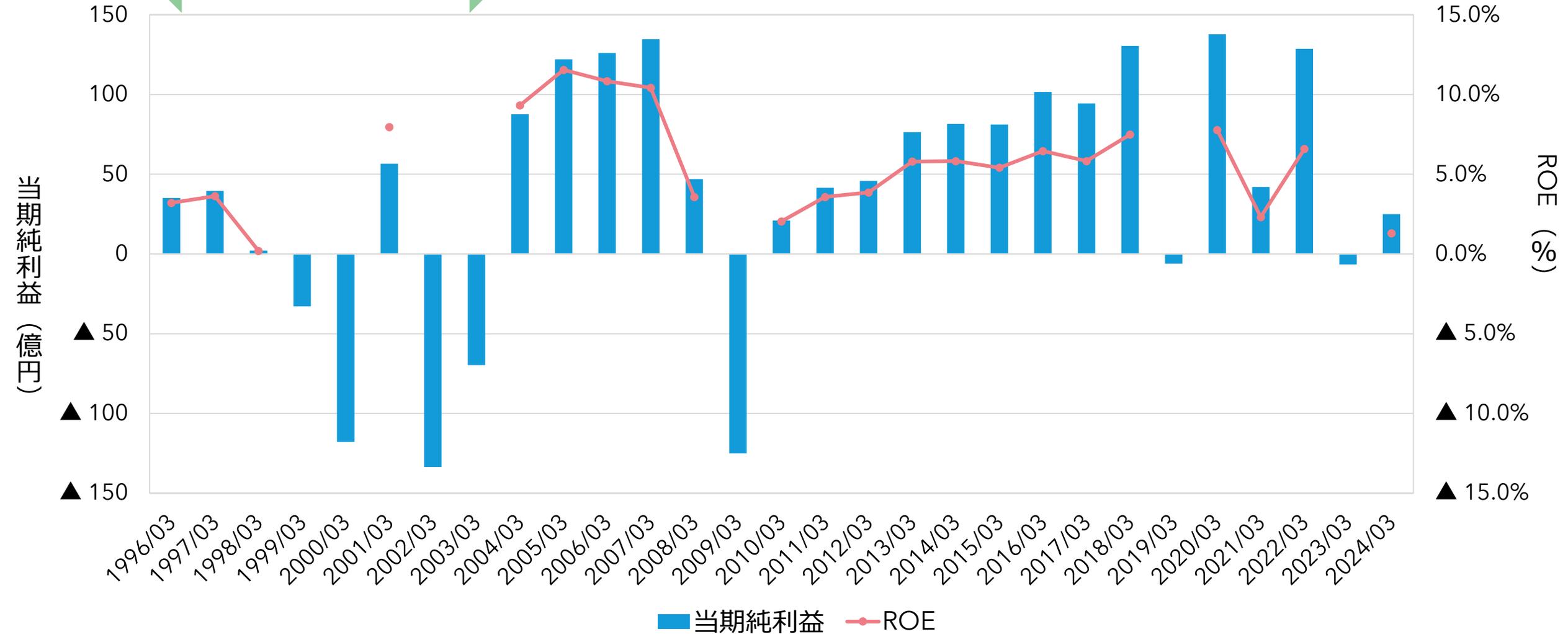
# 歩み② 収益性の推移

← 衣料繊維事業の構造改革 →



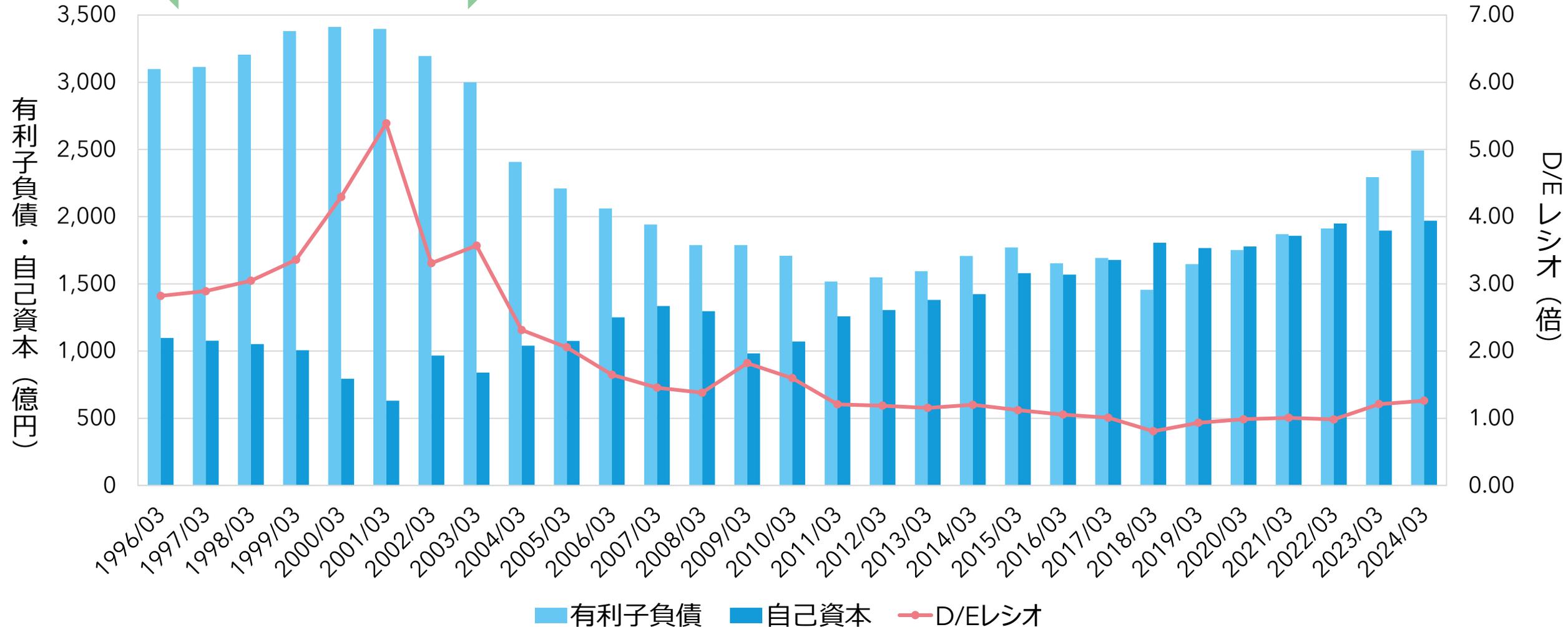
# 歩み③ 資本効率の推移

衣料繊維事業の構造改革



# 歩み④ 財務体質の推移

← 衣料繊維事業の構造改革 →



## Ⅱ .サステナブル・ビジョン2030、2025中期経営計画

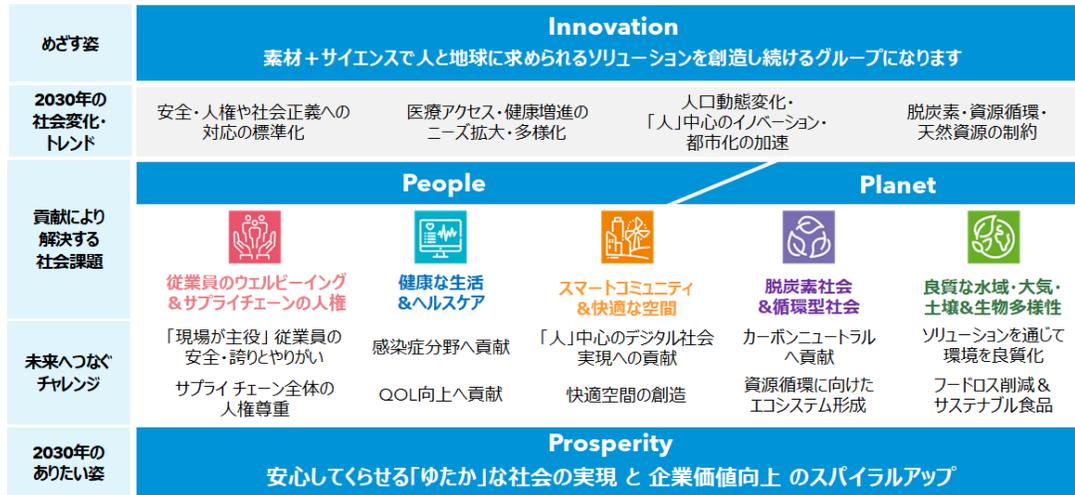
- サステナブル・ビジョン2030
- 2025中期経営計画（2022～2025年度）

# サステナブル・ビジョン2030、 2025中期経営計画（2022～2025年度）①

長期ビジョン「サステナブル・ビジョン2030」、2025中期経営計画（2022～2025年度）を2022年5月に策定

## サステナブル・ビジョン2030の全体像

『順理則裕』なすべきことをなし、ゆたかにする



## 2030年のありたい姿

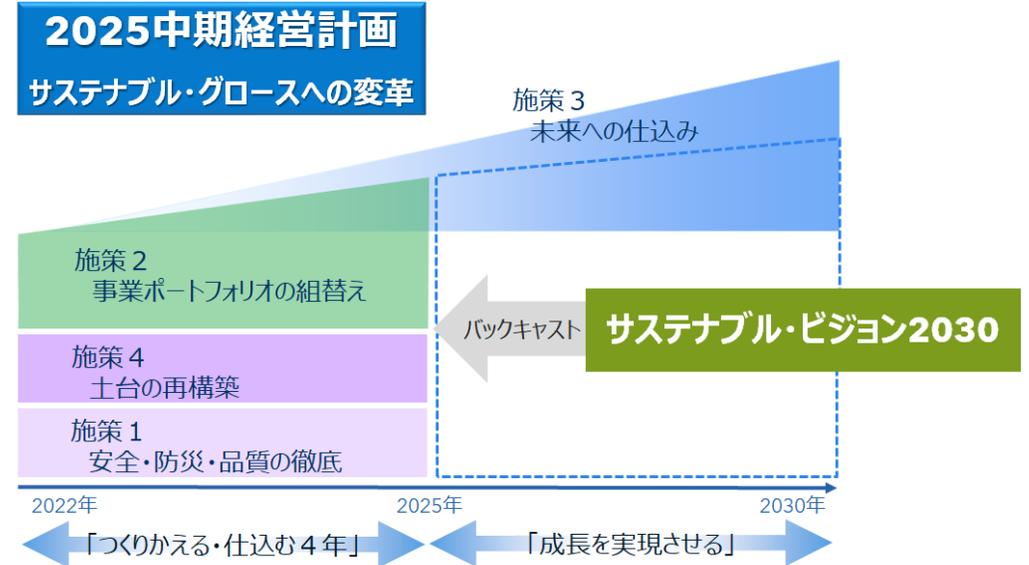
安心してらせる「ゆたか」な社会の実現と企業価値向上のスパイラルアップ

- ① 事業を通じて社会の課題解決に貢献
- ② 持続可能な成長（しっかりした土台+未来への成長軌道）
- ③ 現場が主役（安全・安心な職場環境、誇りとやりがい、自己成長）

サステナビリティ指標	財務指標		
重大インシデント	ゼロ	連結売上高	6,000億円
従業員エンゲージメントスコア	70%以上	営業利益率	8.3%以上
GHG排出量削減 2013年度比	46%以上	ROE	9%以上
	2050年度カーボンニュートラル		
主力事業*における原材料のグリーン化比率	60%	ROIC	7%以上

\*フィルム事業を想定

## 2025中期経営計画の基本方針と4つの施策



施策1	安全・防災・品質の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全・防災マスタープランの実行「ゼロ災」</li> <li>●品質保証マネジメント体制の再構築</li> <li>●リスクマネジメント体制</li> </ul>
施策2	事業ポートフォリオの組替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業を層別（使用資本利益率と成長性）</li> <li>①重点拡大：成長策提案実行、競争優位強化</li> <li>②安定収益：成長探索 or 維持改善</li> <li>③要改善：あるべき姿に向けたマスタープラン実行</li> </ul>
施策3	未来への仕込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新事業・新技術の創出：環境・バイオ強化、みらいプロPOC</li> <li>●DX戦略：SFA、MI、スマート工場、新たな稼ぎ方</li> <li>●カーボンニュートラルへのロードマップ（2050）</li> </ul>
施策4	土台の再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人材開発・ダイバーシティ推進</li> <li>●モノづくり現場力</li> <li>●ガバナンス・コンプライアンス</li> <li>●事業基盤の整備</li> <li>●組織風土改革</li> </ul>

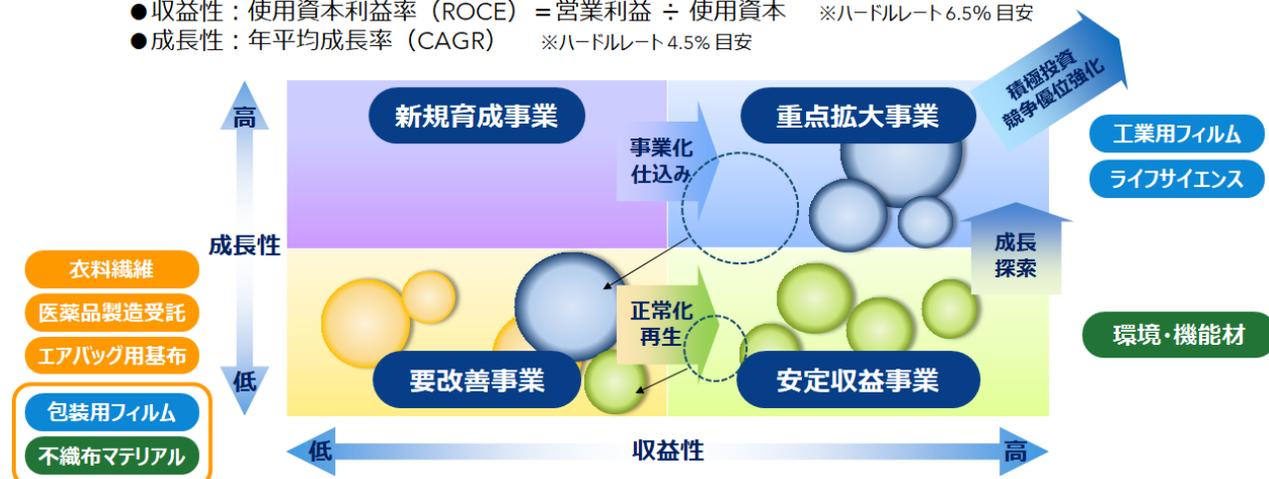
## 前半（2022～2023年度）の振り返り

- 稼ぐ力の低下 営業利益 200～250億円/年 → 2023年度 90億円
  - ・ 交易条件悪化（限界利益率低下）× 数量減 + 固定費・経費増（攻め・守り）
  - ・ 包装用フィルム、不織布マテリアルの業績悪化 → 事業ポートフォリオの位置づけ変化
  - ・ 投資効果、成長策の発現（新機台立上げ）遅れ
- 大型投資先行もあり、財務体質悪化 D/Eレシオ 1.0倍以下 → 2023年度 1.2倍超に
  - ・ 稼ぐ力の低下（＝営業キャッシュ・フロー減）+ 大型投資（フィルム、ライフサイエンスほか）→ フリー・キャッシュ・フローマイナス（有利子負債増）
  - ・ 事業ポートフォリオ組替えの遅れにより、総資産、使用資本が増加
- 「安全・防災、品質の徹底」、「未来への仕込み」、「土台の再構築」は着実に前進
  - ・ 安全・防災、品質の徹底：ゆるぎない信頼に向けて着実に改善
  - ・ 未来への仕込み：事業開発は主力テーマの絞り込み、DX進捗、カーボンニュートラル対応
  - ・ 土台の再構築：人材への投資（研修等）、インフラ整備、組織風土改善傾向

## 事業ポートフォリオの位置づけ変化

「収益性」「成長性」の2軸で各事業を4象限に評価・層別

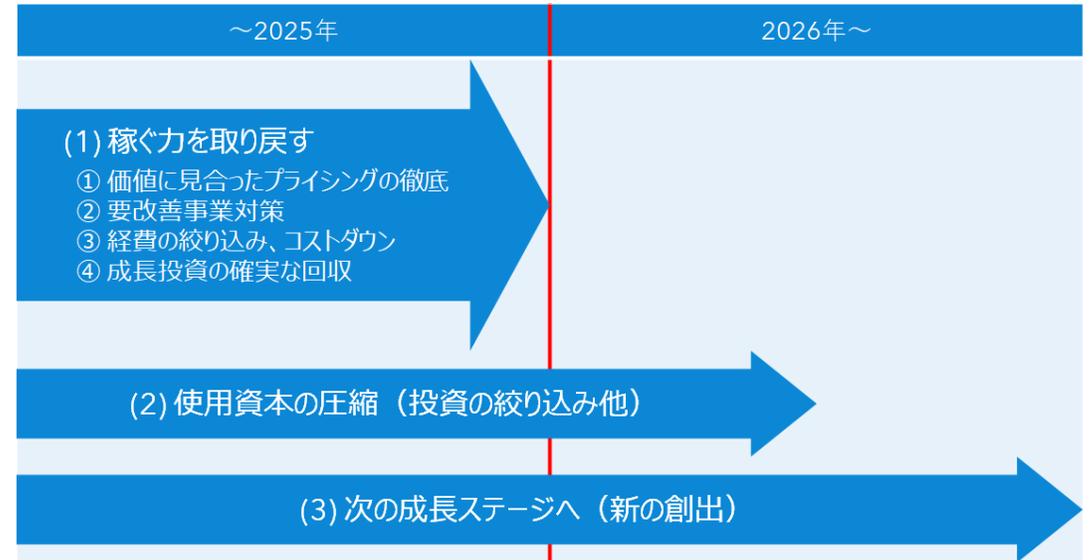
- 収益性：使用資本利益率（ROCE）＝ 営業利益 ÷ 使用資本 ※ハードルレート6.5%目安
- 成長性：年平均成長率（CAGR） ※ハードルレート4.5%目安



・ハードルレートだけでなく、定性情報も含めて、「安定収益事業」か「要改善事業」かを見極める。  
 ・当社グループ全体の資本効率性指標はROIC、各事業の管理指標はROCE

2つの事業の収益悪化

## 後半以降（2024年度～）のアクション



## 後半以降のアクション(1) 稼ぐ力を取り戻す | 基本方針

① 価値に見合ったプライシングの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営によるプライシングの実行フォロー：コストベース → バリューベースの価格設定へ</li> </ul>
② 要改善事業対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包装用フィルム：生産体制見直し、環境製品加速、海外拡販</li> <li>・ 不織布マテリアル：国内事業再編、生産体制の見直し</li> <li>・ エアバッグ用基布、医薬品製造受託：黒字化ロードマップ遂行</li> <li>・ 衣料繊維：2023年度黒字化達成 → 資産効率改善の追求</li> </ul>
③ 経費の絞り込み、コストダウン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所・工場のコスト競争力強化</li> <li>・ 間接材費のコストダウン</li> <li>・ 業務効率・生産性向上</li> </ul>
④ 成長投資の確実な回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成長投資、開発投資の効果実現による利益拡大</li> </ul>

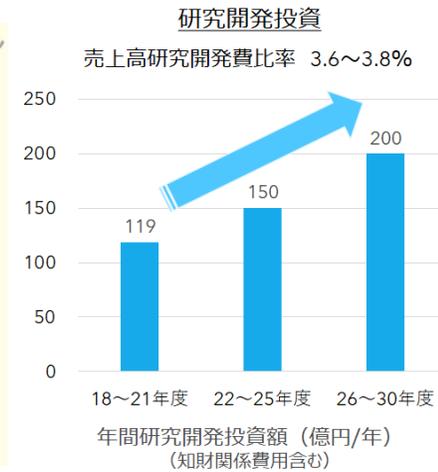
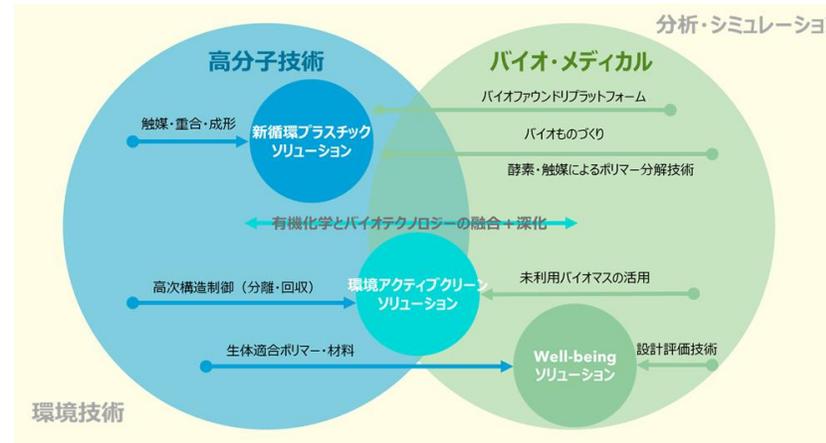
# 2025中期経営計画（2022～2025年度）③

## 後半以降のアクション(1)④ 成長投資の確実な回収

セグメント	内容	投資金額 (億円、概数)	投資効果実現時期 (年度)			
			2023	2024	2025	2026~
フィルム	・ OPPフィルム 生産設備 (犬山)	70				
	・ セラコン用離型フィルム 加工設備2号機 (敦賀)	60 <sup>*1</sup>				
	・ セラコン用離型フィルム 製造設備 (宇都宮)	200				
ライフサイエンス	・ 生化学診断薬用原料酵素 製造設備 (敦賀)	70				
	・ PCR検査試薬・遺伝子診断薬用原料 製造設備 (敦賀)	65				
	・ 人工腎臓用中空糸膜 一貫生産工場 (秋田)	50				
環境・機能材	・ 高機能樹脂 製造設備 (高砂)	80 <sup>*2</sup>				
	・ 高機能樹脂 製造設備 (岩国)					

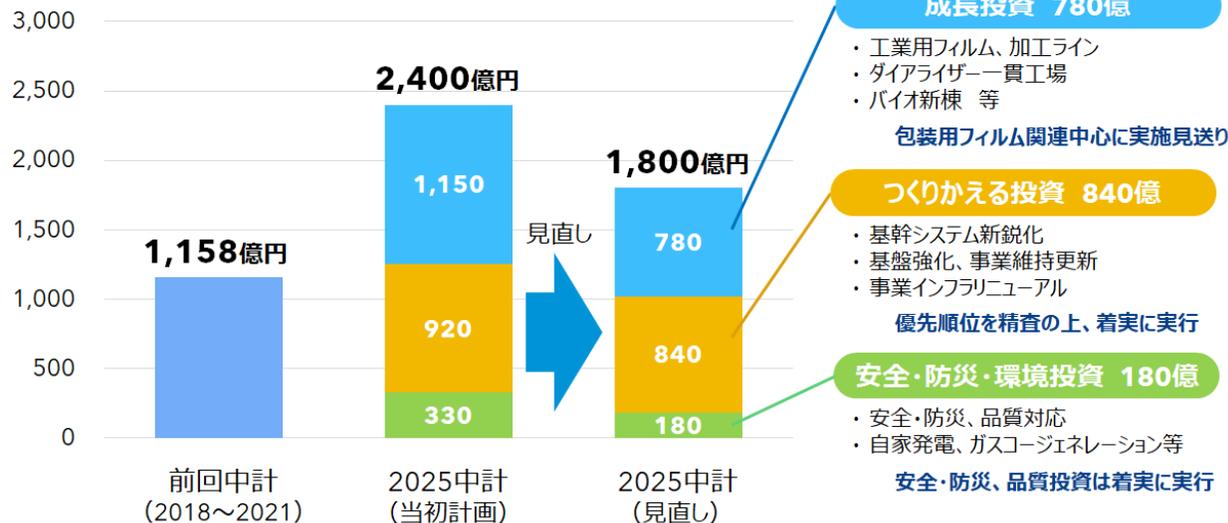
\*1: 1号機との合算金額 \*2: 合併会社の総投資額

## 後半以降のアクション(3) 次の成長ステージへ コア技術の融合による新領域への挑戦



## 後半以降のアクション(2) 使用資本の圧縮 | 投資の絞り込み

設備投資を見直し、総額 600 億円圧縮 (2024年5月)



成長投資 780億

- ・ 工業用フィルム、加工ライン
- ・ ダイアライザー一貫工場
- ・ バイオ新棟 等

包装用フィルム関連中心に実施見送り

つくりかえる投資 840億

- ・ 基幹システム新鋭化
- ・ 基盤強化、事業維持更新
- ・ 事業インフラリニューアル

優先順位を精査の上、着実に実行

安全・防災・環境投資 180億

- ・ 安全・防災、品質対応
- ・ 自家発電、ガスコージェネレーション等

安全・防災、品質投資は着実に実行

## 3領域での新しい創出

新循環プラスチックソリューション	<b>リニューアブルポリマーへの転換</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用済プラスチックの高効率なケミカルリサイクル (機)アールプラスジャパン設立、アネロテック社の技術活用</li> <li>・ PEF (ポリエチレンフタレート) など 100% バイオマス新プラスチック</li> </ul>
環境アクティブグリーンソリューション	<b>環境配慮型新素材、サービスの提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶剤フリー、常温流通可能な高耐熱接着素材 "Vitrimers" の実用化</li> <li>・ FO膜 (正浸透膜) 使用による省電力海水淡水化</li> <li>・ BC膜 (高濃度塩水処理) による、省エネルギー、製塩、排水処理、有価物回収への展開</li> <li>・ 有機薄膜太陽電池材料: 抜群の省エネ性能。薄暗い室内で、世界最高レベルの変換効率を実現</li> </ul>
Well-beingソリューション	<b>Unmet Medical Needsに応える医療用素材、機器</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急性血液浄化膜: 腹水濾過膜 (CART)、敗血症の治療器</li> <li>・ 生体適合性ポリマー: 樹脂・金属・医療機器等に、抗血栓性、炎症反応抑制、アンチバイオフィリング性等付与</li> </ul> <b>次世代医療への価値提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ "Catarosev": エクソソームを高効率・高純度・高収率に回収する精製キット</li> </ul>
領域横断	<b>「バイオものづくり」による、脱石油素材、持続可能な素材提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MEL: 微生物が作る界面活性剤の農業用展着剤、飼料配合剤、衛生材のコーティング剤などの提供</li> <li>※ NEDO「バイオものづくり革新推進事業」実施先に採択</li> </ul>

\*\*"Vitrimers"はFONDS ESPCI PARISの登録商標です。

## 財務目標

（当初計画：2022年5月  
見直し：2024年5月）

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2025年度 見直し	2025年度 当初計画
売上高（億円）	3,757	3,999	4,143	<b>4,500</b>	4,500
営業利益（億円）	284	101	90	<b>250</b>	350
営業利益率（%）	7.6	2.5	2.2	<b>5.6</b>	7.8
EBITDA（億円）*1	485	291	288	<b>510</b>	630
当期純利益（億円）	129	▲7	25	<b>90</b>	150
ROE（%）*2	6.8	-	1.3	<b>≥ 4.5</b>	≥ 7.0
ROIC（%）*3	5.1	1.7	1.3	<b>≥ 4.0</b>	≥ 5.0
D/Eレシオ（倍）	0.98	1.21	1.26	<b>&lt; 1.40</b>	< 1.20
Net Debt / EBITDA倍率*4	3.4	5.8	7.5	<b>&lt; 5.0</b>	< 5.0
設備投資（2022～2025年度 累計）（億円）				<b>1,800</b>	2,400

\*1 営業利益+減価償却費（のれんを含む） \*2 当期純利益÷期首・期末平均自己資本  
\*3 NOPAT÷（有利子負債+純資産） \*4（有利子負債-現金）÷期末EBITDA

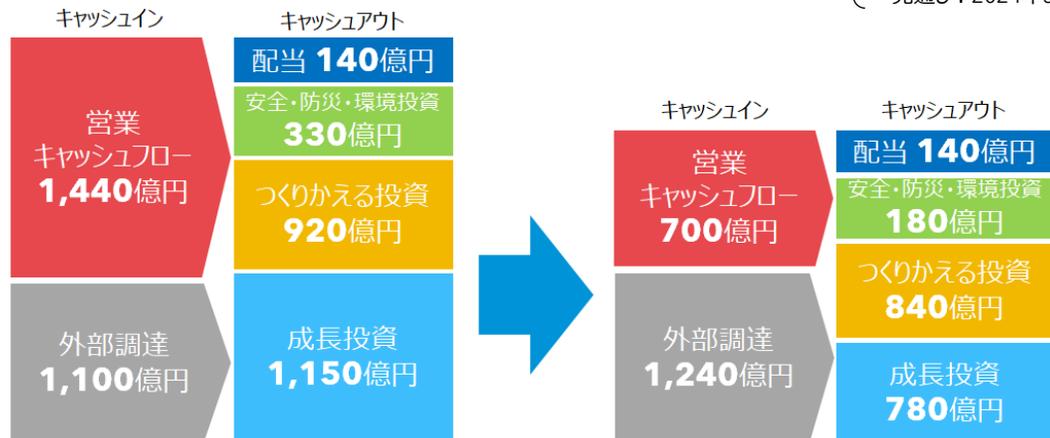
## キャッシュフロー・アロケーション

設備投資：安全・防災・環境対応を優先し、営業CF減に応じて見直し

当初計画

見直し

（当初計画：2022年5月  
見直し：2024年5月）



## 資本コストや株価を意識した経営 | ROE、ROICの改善

### 施策2：事業ポートフォリオの組替え

#### (1) 稼ぐ力を取り戻す

- ① 価値に見合ったプライシングの徹底
- ② 要改善事業対策  
・衣料繊維、エアバッグ、医薬品製造受託  
・包装用フィルム、不織布マテリアル
- ③ 経費の絞り込み、コストダウン
- ④ 成長投資の確実な回収

#### (2) 使用資本の圧縮（投資の絞り込み他）

### 施策3：未来への仕込み

#### (3) 次の成長ステージへ（新の創出）

### 施策1：安全・防災、品質の徹底

### 施策4：土台の再構築

収益性の向上  
(ROS ↑)

資産効率の向上  
(総資産回転率 ↑)

成長期待の醸成

リスクの低減  
(株主資本コスト ↓)

ROE ↑

PER ↑

PBR ↑

## 株主還元

### 2025中期経営計画期間の方針

安定的な配当の継続を基本としつつ、持続性のある利益水準、将来投資のための内部留保、財務体質の改善などを勘案した上で、総還元性向 30%を目安とする（自己株式の取得も選択肢に含む）

### Ⅲ. 2025中期経営計画における拡大事業

- フィルム事業
- ライフサイエンス事業
- 環境・機能材事業

## 主要製品

### 工業用フィルム

素材：ポリエステルなど

### 液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”

- ・超複屈折ポリエステルフィルム ・複屈折による着色（虹むら）を解消
- ・強み：ハンドリング性（寸法安定性、低い反り性）、価格競争力
- ・液晶TVシェア：約60%（当社推定） ・今後の展開：薄肉化の追求

### セラコン用離型フィルム

- ・強み：製膜からコーティングまで一貫製造、優れた平滑性を実現する製膜技術、汎用からハイエンドまでラインアップ
- ・最終製品：車載用途、スマホ用途に展開
- ・シェア：約25%（当社推定） グローバルでトップシェア

### 包装用フィルム

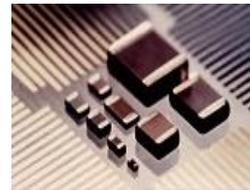
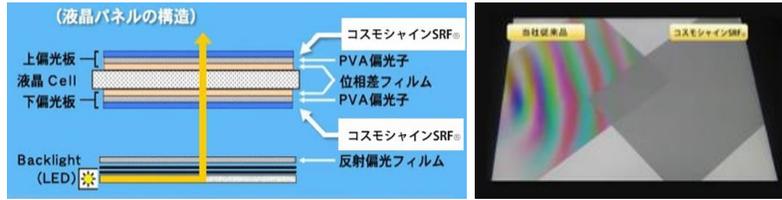
- 複数素材を保有：ポリエステル、ナイロン、ポリプロピレン、ポリエチレン
- 用途：食品包装用フィルム、缶ラミネートフィルム など
- シェア：国内総合トップ（当社推定）

### 透明蒸着フィルム“エコシールド”

- ・アルミナとシリカの二元蒸着。柔軟性とバリア性の両立
- ・食品の賞味期限を延ばす ・市場：グローバルで10%/年の成長率

### リサイクルPETフィルム“サイクルクリーン”

- ・リサイクル樹脂を80%以上使用、CO<sub>2</sub>排出量を約20%削減



## 成長戦略 世界トップのグリーンフィルムメーカーへ

### 高機能フィルムの増産・拡大

※2021年度対比

- セラコン用離型フィルム
  - ・インラインコート新設備
  - ・コーター2号機
  - ・水平リサイクル
- 液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”
  - ・薄肉化、既存生産ライン改造による増産体制の確立

生産能力  
約2.5倍



宇都宮工場に新設する製造設備（イメージ）

### 新規高機能フィルムの開発

- PENフィルムの実装拡大  
（風力発電（絶縁）、燃料電池セル用シール材）
- ポスト“コスモシャインSRF”  
ポストセラコン用離型フィルムの開発  
（半導体工程、環境対応、フォルダブル）



新型「MIRAI」の燃料電池ユニット

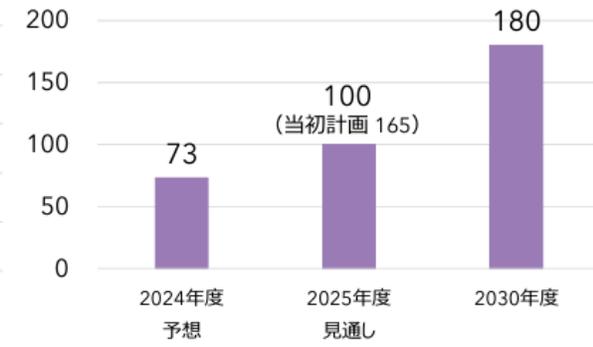
### 脱炭素・循環型社会に貢献

- 新市場への展開  
～環境配慮製品～
- ・缶塗装をラミネートフィルムに。ラベル用剥離紙を剥離フィルムに
- グリーンフィルムの展開拡大
- ・高剛性フィルムによる減容化で省資源（OPPフィルム新機台稼働）
- ・バイオ樹脂100%のフィルム
- ・リサイクル原料使用フィルム
- ・自社内・外の使用済み加工フィルムのリサイクル

### 売上高目標（億円）



### 営業利益目標（億円）



※2025年度見通しは、2024年5月時点（当初計画は2022年5月時点）

## 主要製品

### ➤ バイオ

強み：高機能タンパク質を作る技術



### 遺伝子検査用原料酵素・研究用試薬・診断システム

・原料酵素例：PCR酵素

→高速増幅、コピーが正確、夾雑物に対して高耐性

シェア：国内約 15% ← コロナ前約 5% (当社推定) 国内トップ3

・研究用試薬例：新型コロナウイルス検査キット→短時間での検査可能

### 生化学診断用原料酵素 (血糖、コレステロール、クレアチニンなど)

・微生物の遺伝子組換え技術→機能改変・大量生産、品揃えが多い

・シェア：約25%(当社推定)、世界2位 ・海外売上高比率：約70%

### ➤ メディカル

中空糸分離膜：断面に微細な孔を形成した分離膜

強み：製膜技術 (孔径の制御・断面構造の設計)



### 人工腎臓用中空糸膜

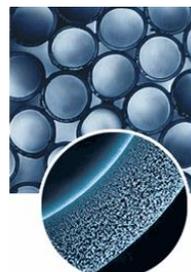
・セルロース系の膜による、優れた生体適合性

・シェア：グローバル 6% (国内約20%、中国13%、他)

### ウイルス除去膜

・抗体医薬品の製造工程で、抗体とウイルスを分離する最終工程に使用。中空糸構造のため、処理量大

・抗体医薬品は、10年間で約3倍の成長市場



□ 中空糸膜の断面拡大図

## 成長戦略 グローバル・ニッチ・カテゴリーリーダー戦略

### バイオ事業

- 生化学診断薬用原料酵素
  - ・生産能力増強 生産能力約**1.5倍** (2024年～)、海外展開の拡大
- 感染症ソリューションビジネスの拡大
  - ・遺伝子診断薬原料の新設備 生産能力約**3倍** (2024年～)
- バイオ技術の他市場への展開
  - ・バイオものづくり (農業用展着剤)

### メディカル事業

- 海外展開を見据えた、人工腎臓用中空糸膜の増産
  - ・ニプロ株式会社と共同で一貫生産工場 (2024年～、秋田県大館市)
- 急性血液浄化膜、プロセス膜への用途拡大
  - ・CART膜 (腹水濾過濃縮)、ウイルス除去膜、培地濾過膜
- バイオマテリアル事業の拡大
  - ・合成系コーティング材料 (抗血栓) “セックワン”



メディカル研究所の新設  
 ・総合研究所内 (滋賀県大津市)  
 ・2024年4月8日に開所式  
 ・メディカル製品の研究開発体制を強化

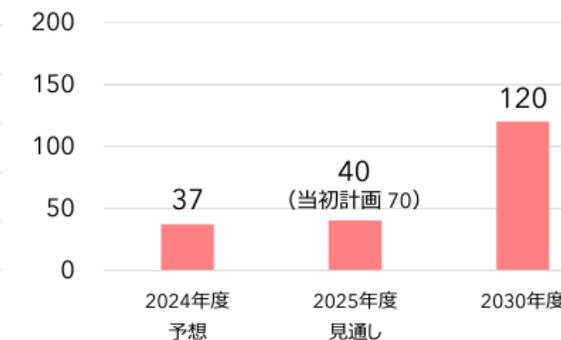


CTAダイアライザー一貫生産工場  
 ・ニプロ大館工場内 (秋田県大館市)  
 ・当社は原料から中空糸を製造

### 売上高目標 (億円)



### 営業利益目標 (億円)



※2025年度見通しは、2024年5月時点 (当初計画は2022年5月時点)

## 主要製品

### VOC回収装置

- 高性能な活性炭繊維を用いたVOC回収装置
- 工場排水の浄化や回収
- EV化に伴うLIB成長市場において、グローバル展開加速



### “バイロン” “ハードレン”

- フィルム接着剤、ポリオレフィン用接着付与剤として使用される樹脂。接着性、耐久性等
- LIB、FPCの海外市場に向けて拡販



### エンジニアリングプラスチック

- 自動車部品用途が多くを占める
- 軽量、耐熱性、良外観等の特長
- EV化の動きに応じた、軽量化・高機能化製品の海外拡販



### 海水淡水化用逆浸透膜

- 耐塩素性に優れ、微生物汚染を防ぐ
- 高温高濃度海水の中東湾岸諸国で高品質の生活用水を製造



### スーパー繊維

- “イザナス”：強度、軽量性、耐水性、衝撃吸収性など
- “ザイロン”：世界最高レベルの強度と弾性率、耐熱性など
- 浮体式洋上風力発電用途に展開へ

## 成長戦略 グローバル市場で活躍する新しい機能素材メーカーへ

### 樹脂・ケミカル事業

- エンジニアリングプラスチック
  - ・EV対応、外資系OEM展開
- バイロン・ハードレン
  - ・リチウムイオン電池パウチ用途、高速伝送用途（低誘電）
  - ・“Vitrimer”の実用化（電子材料用接着シート）

\*“Vitrimer”はFONDS ESPCI PARISの登録商標です。

### 環境・ファイバー事業

- VOC回収装置
  - ・リチウムイオン電池セパレータ工場向け
- アクア膜
  - ・FO膜（省電力海水淡水化、浸透圧発電）、BC膜（排水処理等）
- 高機能ファイバー
  - ・洋上風力発電（浮体式）用係留索

当社と三菱商事による機能素材分野における合併会社

### 東洋紡エムシー株式会社

■ 出資比率  
当社 51%、三菱商事 49%

■ 目的  
当社の製品・技術開発力と三菱商事の幅広い産業知見・経営力の掛け合わせ

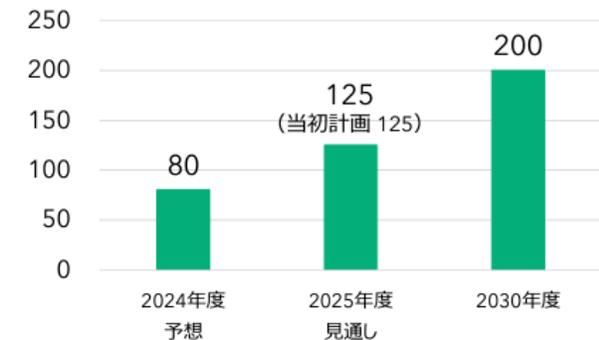
■ 事業開始  
2023年4月1日

環境・機能材事業は「安定収益事業」から東洋紡エムシー(株)により、成長拡大を目指す。

### 売上高目標（億円）



### 営業利益目標（億円）

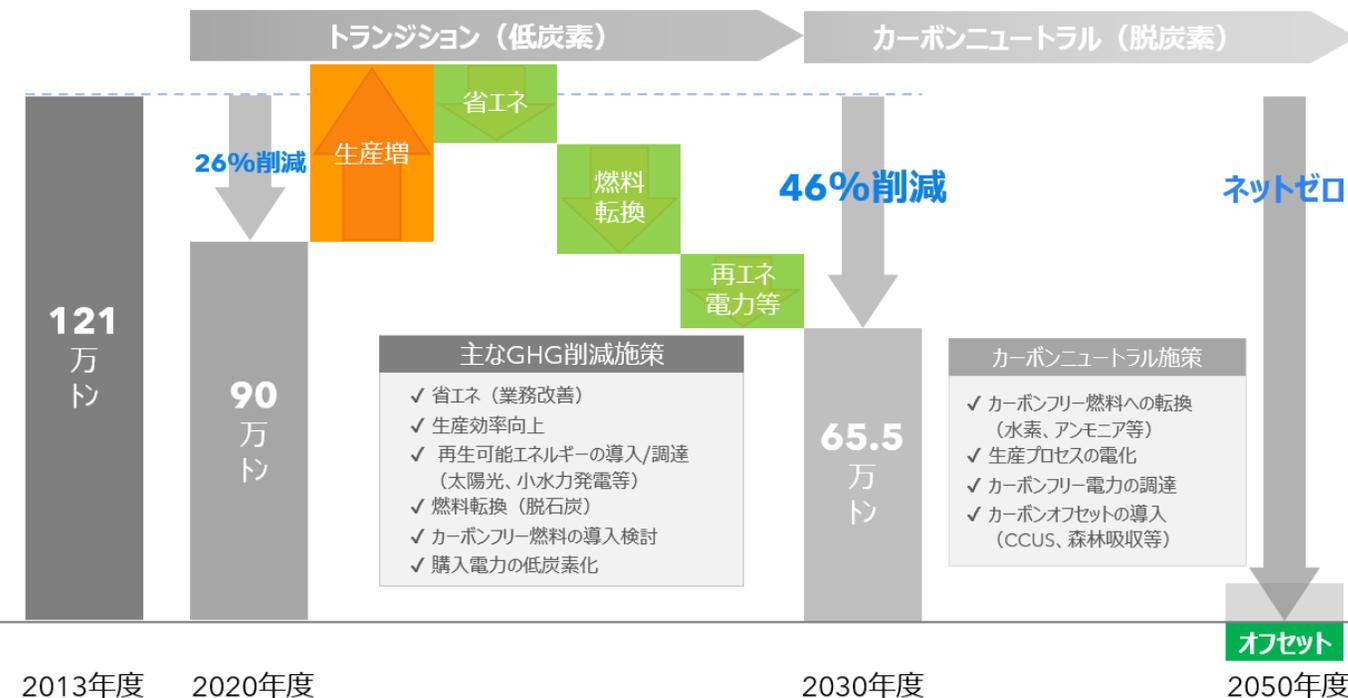


※2025年度見通しは、2024年5月時点（当初計画は2022年5月時点）

## IV. ESG

- 環境 (Environment)
- 社会 (Social)
- ガバナンス (Governance)

## ◆カーボンニュートラルへのロードマップ<sup>①</sup> (Scope1,2)



## ◆GHG排出量削減の取り組み

### ●燃料転換（脱石炭）

岩国事業所の自家火力発電所更新（2023年10月竣工）

- ・石炭から液化天然ガス、RPF\*に転換 \*古紙・廃プラスチック類を主原料とした固形燃料
- ・GHG年間 8 万トン削減見込 → 岩国事業所の2013年度排出量の約4割に相当

### ●再生可能エネルギーの導入

犬山工場に太陽光発電設備を導入（2023年3月稼働）

	排出量 (千トン・CO <sub>2</sub> )	2013年度比 削減率	
		2022年度 実績	2030年度 目標
Scope1	712	26.4%	46%以上
Scope2	182		
Scope3	5,290	-	-

## ◆社外評価

- ・GPIFが採用する日本株の6つのESG指数すべての構成銘柄に選定

FTSE Blossom Japan Index  
 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index  
 MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数  
 MSCI日本株女性活躍指数（WIN）  
 S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数  
 Morningstar日本株式 ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



FTSE Blossom Japan

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)



- ・CDP「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」選定（2021年、2022年）

CDPが実施する企業調査において、企業のサプライチェーン全体における気候変動に対する取り組みを評価

※CDP:世界的な環境情報開示システムを運営する英国の非営利団体



- ・SBT認定取得（2022年12月）

GHG排出量削減目標が科学的根拠に基づいた目標であるとして、SBTイニシアチブより認定

<SBT認定を取得した目標>

2030年までにGHG排出量を2020年度比で  
 Scope1,2 27.0%削減 Scope3 12.5%削減

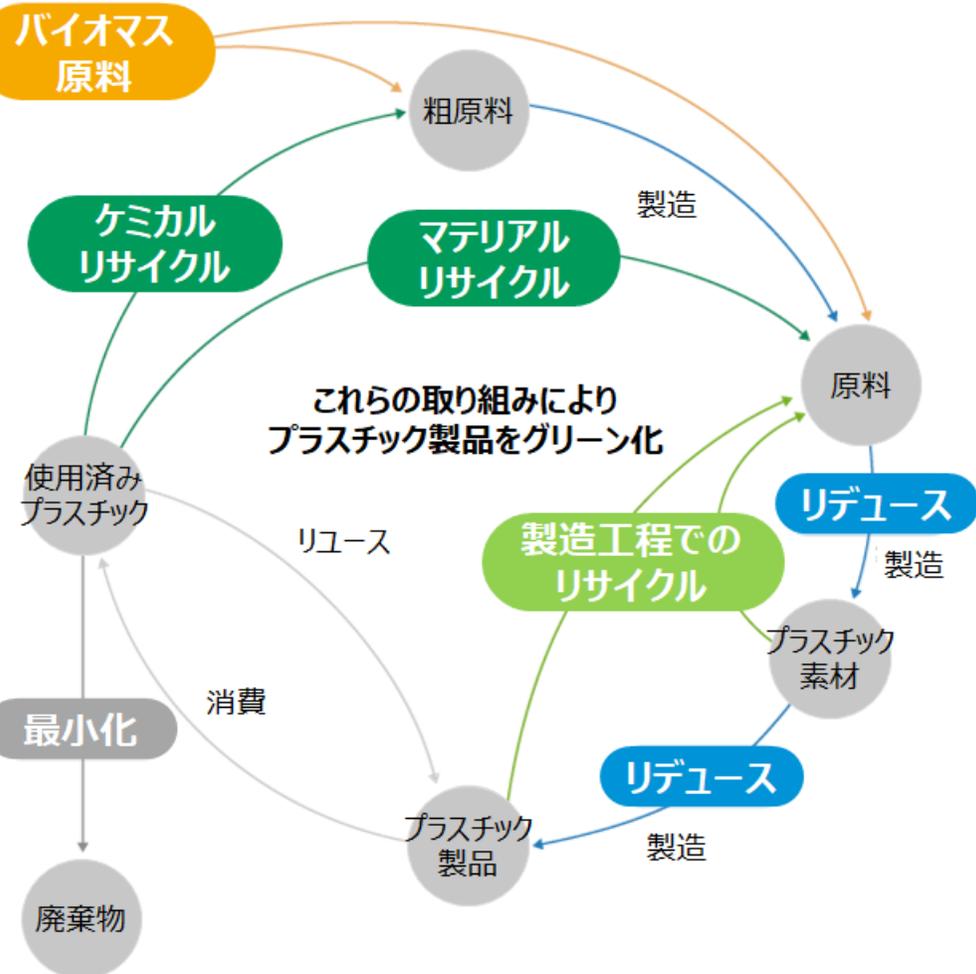


DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

# 環境：プラスチック資源循環と環境配慮製品

## ◆プラスチックの資源循環に向けた当社グループの取り組み

「サステナブル・ビジョン2030」における2030年 目標「フィルムのグリーン化比率を60%とすること」  
このグリーン化により、石油由来資源の使用量削減や代替化に貢献



### フィルムのグリーン化比率

実績 2022年度 11 %  
目標 2030年度 60 %  
2050年度 100 %

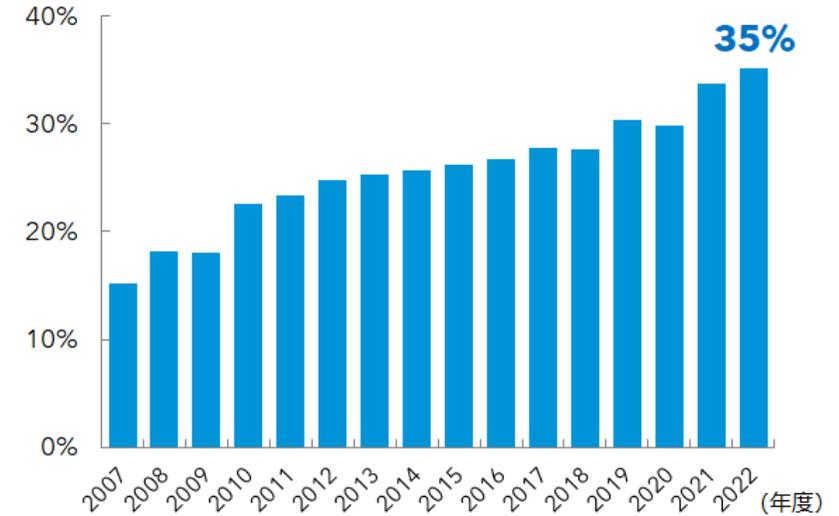
2022年度に、グリーン化比率の算定方法を検討し、現状の実績集計を実施

### 資源循環に関するフィルム製品例

バイオマス原料	植物由来の原料 ●“バイオプレーナ” ●100%バイオマスの樹脂 ●PEF（ポリエチレンフタレート）
ケミカルリサイクル	粗原料へのケミカルリサイクル ●(株)アールプラスジャパン
マテリアルリサイクル	リサイクル樹脂使用 ●“サイクルクリーン” “スペースクリーン” “クリスパー” “カミシャイン” “リシャイン” モノマテリアル化によりリサイクル可能に ●“パイレxtop” “エコアール” リサイクルしても熱劣化しにくい ●“TOYOBO GS Catalyst”
製造工程でのリサイクル	●“カミシャインNEO” ●セラコン用離型フィルムのリサイクル
リデュース	減容化・薄肉化 ●“スペースクリーン” “パイレxtop” 透明蒸着フィルムでフードロス削減 ●“エコアール”

## ◆環境配慮製品

環境配慮製品の売上高比率（単体）



### “エコパートナーシステム”

5つの視点\*で、評価基準を満たした製品を環境配慮製品と認定する当社独自の制度（1998年より運用）

今後、本認定制度をグループ会社へも拡大

\*温暖化防止、省資源、廃棄物削減、化学物質削減、生物多様性・その他



### 中空糸型逆浸透膜（RO膜）

- 海水から淡水を低エネルギーで生産可能
- 「蒸発法」に比べて、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減
- 主原料がバイオマス材



### VOC\*回収装置 \*揮発性有機化合物

- 塩化メチレン、酢酸エチル、トルエンやIPAなどの有機溶剤の排出抑制や回収再利用に貢献
- 独自の活性炭素繊維“Kフィルター”内蔵 25
- 高品質の溶剤回収と省エネルギー化が可能

## ◆人材マネジメント

一人一人が成長を感じ、誇りとやりがいを持って働くことができる

新人事制度（2022年7月～）の4つの方針  
 「能力向上を促進・支援」「職責に応じた処遇と評価」  
 「マネジメントの強化」「多様な専門人材の活躍促進」

## ◆ダイバーシティ推進

項目	2023年度 実績	2025年度 目標
管理職に占める女性比率	5.5 %	5.0 % 以上
男性の育児休業取得率 平均取得日数	97.7 % 19.3 日	80 % 以上 14 日 以上 (2020年度比20%増加)

### 主要施策

- ・女性リーダー育成セミナー 累計受講者数 189人
- ・グローバルコースの新卒採用の女性比率40%を継続
- ・男性の育児休業取得本人や上司への通知・休業前後の面談
- ・ベビーシッター支援制度、企業内保育園設置



## ◆従業員エンゲージメント (2021年～)

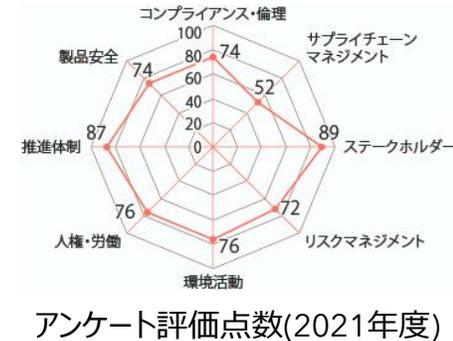
全役員・全従業員対象の「組織風土・働きがい調査」を開始

項目	2022年度 実績	2030年度 目標
従業員エンゲージメントスコア	55 %	70 % 以上

## ◆人権の尊重

「東洋紡グループ人権方針」に従い、役員・従業員を始め、あらゆるステークホルダーの基本的な人権を尊重

- 当社グループの人権調査（2022年度は単体）
  - ・当社国内事業所（単体）に対し、「労働と人権」調査を実施
  - ・外国人技能実習生に関しては、該当事業所に対して、調査を実施
- 人権教育・研修の実施
- CSR調達アンケート
  - ・全世界の主要なお取引先さまに対して、リスク評価のため、「CSR調達ガイドライン」に基づいたアンケートを隔年実施（2021, 2023年度）
  - ・2023年度の実施では、対象サプライヤーをグループ会社に拡大（約 500社）



## ◆社外評価

「健康経営優良法人2023 ホワイト500」初認定（2023年3月）

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する制度。特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する



「えるぼし認定（2段階目）」取得（2021年12月）

女性活躍推進法に基づき、女性の活躍に関する取り組みの実施状況が優良な企業に与えられる

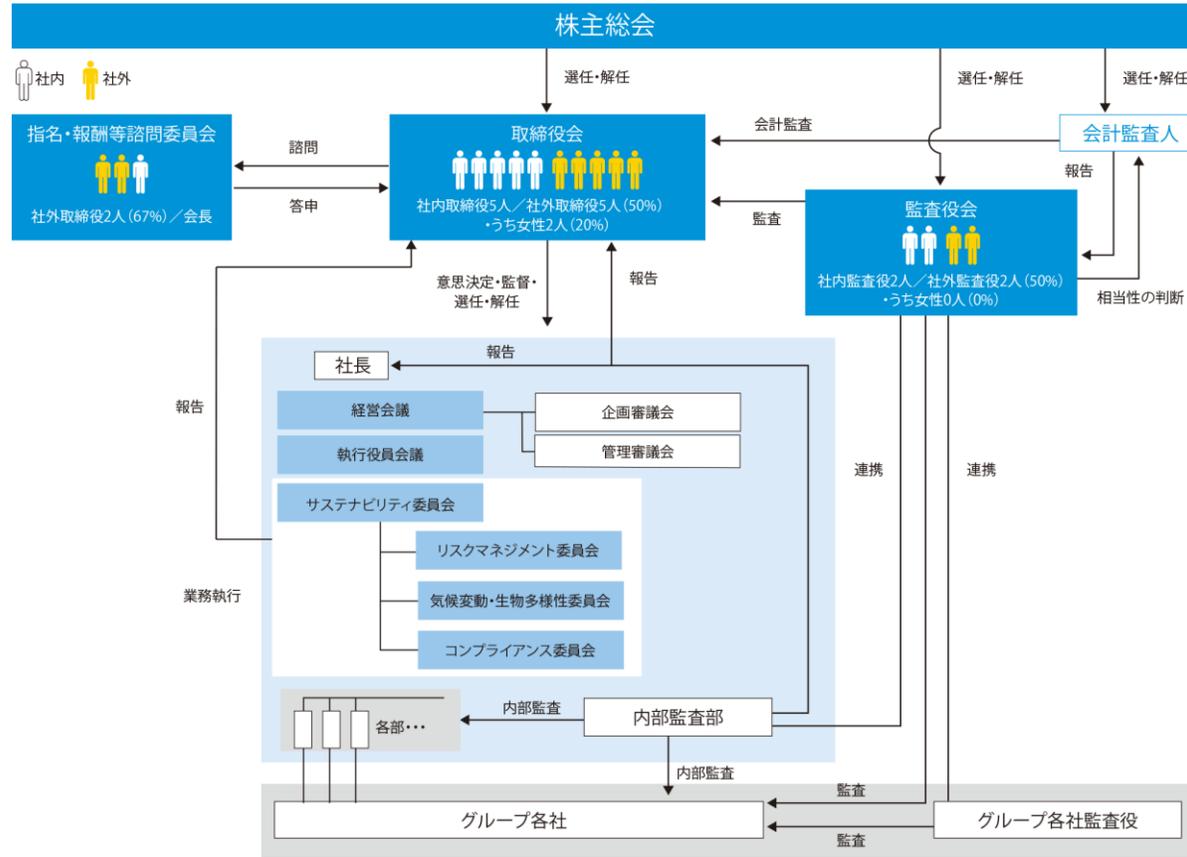


「プラチナくるみん」初認定（2023年7月）

育児と仕事の両立を支援する制度の導入や利用が進むなど、より高い水準の取り組みを行っている企業に対して与えられる



## ◆コーポレート・ガバナンス体制 (2024年6月現在)



## ◆コーポレート・ガバナンス強化への取り組み

- ・2022年より、独立社外取締役を1名増員して5名に社外取締役比率50%とし、モニタリングを強化。経営全般のスキル充実
- ・2023年より、女性の社外取締役を1名から2人に増員

### 取締役のスキルマトリックス (2024年6月現在)

	氏名	役職	当社が求める経験・素養のうち、特に生かすことができるスキル						
			企業経営	生産・技術・開発	マーケティング・営業	財務・会計	環境・社会	ガバナンス・リスク管理・コンプライアンス	IT・DX
社内	榎原 誠慈	取締役会長	○			○	○	○	
	竹内 郁夫	代表取締役社長兼 社長執行役員	○		○		○	○	○
	酒井 太市	代表取締役兼 専務執行役員		○			○	○	○
	相良 誉仁	取締役兼 常務執行役員		○	○			○	○
	稲田 武彦	取締役兼 常務執行役員	○			○	○	○	
社外	磯貝 恭史	社外取締役		○			○		
	桜木 君枝	社外取締役			○		○	○	
	播磨 政明	社外取締役					○	○	
	福土 博司	社外取締役	○	○	○				○
	高瀬 正子	社外取締役		○	○				○

## ◆役員報酬制度

基本報酬 : 短期インセンティブ報酬※ : 長期インセンティブ報酬 = 6 : 3 : 1 を目安  
 (役位別定額部分) (前年度の全社業績評価、担当部門業績評価を反映) (譲渡制限付株式報酬)

※短期インセンティブ報酬

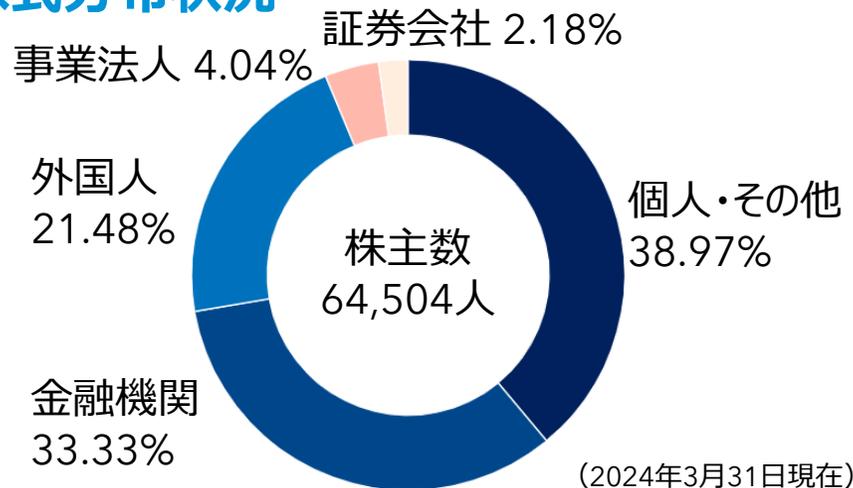
- ・全社業績の指標は、EBITDAを採用 (2025中計目標と連動)
- ・担当部門業績評価の指標は、担当部門の営業利益達成度、ROA、EBITDAの改善度などを総合的に勘案
- ・2023年度の取締役会において、サステナビリティ指標を組み入れることを決定 (2024年7月より)

## V. 株式情報

上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	3101
発行可能株式の総数	200,000,000株
発行済株式の総数	89,048,792株 (自己株式 949,992株含む)
資本金	51,730百万円

(2024年3月31日現在)

## 所有者別株式分布状況



## 格付情報

格付機関名	発表日	格付
株式会社格付投資情報センター (R&I)	2024年1月30日	<b>A-</b>
株式会社日本格付研究所 (JCR)	2024年2月27日	<b>A</b>

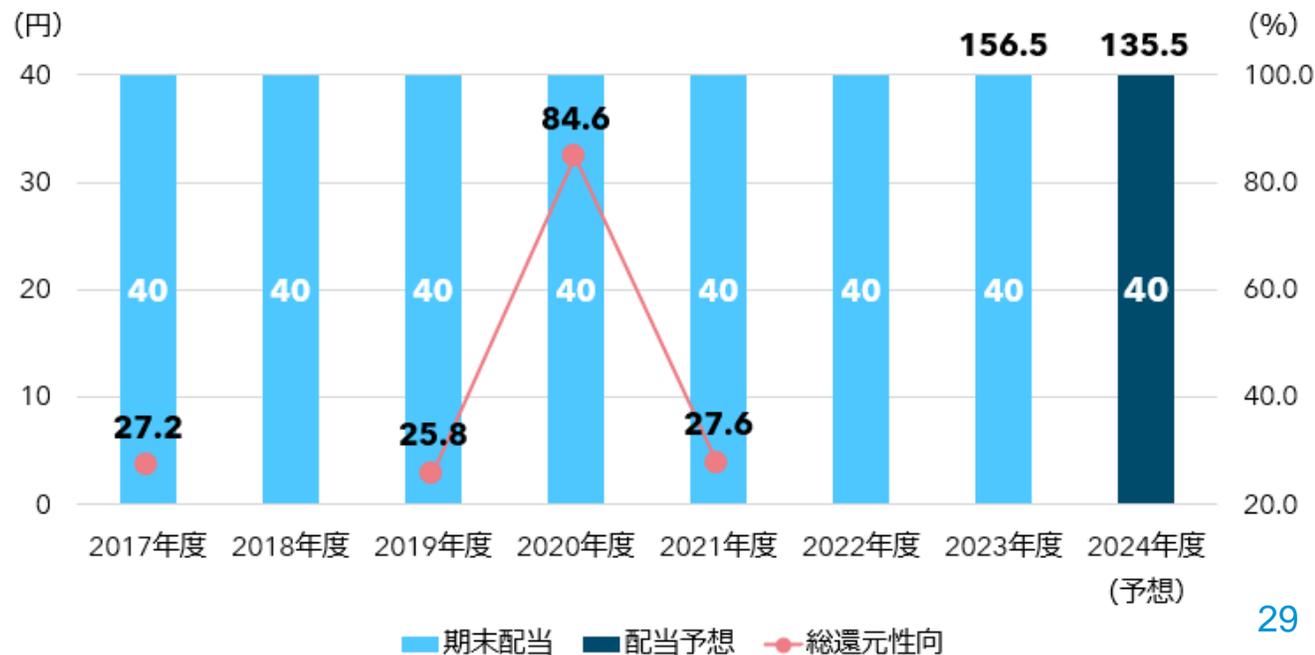
## 株価の推移 (過去5年間における最高値/最安値)

年度	2019	2020	2021	2022	2023
最高値 (円)	1,684	1,687	1,505	1,134	1,182
最安値 (円)	903	1,033	1,046	979	980

## 利益配分の基本方針

総還元性向 (※) 30% を目安

(※) 総還元性向 = (配当総額 + 自社株買い総額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益



## VI. リンク集

投資家情報 トップページ <https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir.html>

✓ 決算説明会資料 <https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir/library/presentation.html>

✓ サステナブル・ビジョン2030 [https://www.toyobo.co.jp/sustainability/group\\_sustainability/vision/](https://www.toyobo.co.jp/sustainability/group_sustainability/vision/)

✓ 2025中期経営計画（2022～2025年度） <https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir/library/plan.html>

✓ 統合報告書2023 <https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir/library/integrated.html>

✓ 事業説明会（フィルム、ライフサイエンス、環境・機能材）

<https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir/library/meeting.html>

✓ ファクトブック <https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir/library/fact.html>

✓ 会社案内 <https://www.toyobo.co.jp/pdf/company/profile/companyguide.pdf>

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

**TOYOBO**  
Beyond Horizons